

登録コード:MH1A7300 開講年度:2026		授業科目区分	保健師コース 必修
科目名	実践保健統計【22M～24M】 Epidemiology and Health Statistics		
担当教員	五十嵐 久人 富澤 真澄		
対象専攻/学年、講義期間、曜日・時限	看護学専攻/3年 後期(集中) 集中・不定期		
単位数、講義室	1 単位	遠隔授業科目	
信大コンピテンシー	非該当		
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素	授業の達成目標	
	MH22カリ・保健		
	保健・医療において生じている現象を分析し、健康問題を解決するために必要な科学的根拠に基づいた判断の進め方について理解することができる。	集団の健康状況を把握する為に必要なデータを収集・分析する方法を理解することができる。	
	MH23カリ・保健・看護		
	基礎的・専門的な知識と技能 看護専門職者に必要な幅広い教養と基礎的・専門的な知識・技能を修得し、さまざまな状況で活用できる。	健康に関連した保健統計資料の見方や基本的な疫学研究手法と統計手法について理解することができる。	
	科学的探求力 変化し続ける社会で派生する多様な課題に対して、地域・国際的な視点から、科学的・倫理的・道徳的・創造的に課題に対応していく探究心と、課題克服や目標達成に向けて生涯をかけて取り組む力が身についている。	健康課題解決に向けたデータ収集方法・分析方法を理解することができる。	
授業で学べる「テーマ」	その他		
全学横断特別教育プログラム			
授業概要	健康課題と様々な健康関連事象の因果推論の為の疫学研究手法と統計学によるデータの扱い方を学ぶ。 本授業は、2年次後期の「公衆衛生学」「公衆衛生看護学概論」、3年次前期の「公衆衛生看護学支援論」を基礎知識として、保健師に必要とされる疫学および保健統計について学ぶものになります。 本授業は、担当教員の地域保健活動における保健師としての実務経験を活かして講義を行います。		
授業計画	第1回 質問の作成方法 第2回 統計解析演習 (データクリーニング、インポート) 第3回 統計解析演習 (変数ラベルの設定、リコーディング) 第4回 統計解析演習 (基本統計量、相関分析) 第5回 統計解析演習 (χ^2 検定、t検定、一元配置分散分析) 第6回 eStatの使い方演習 第7回 eStatの使い方演習、授業アンケート 第8回 試験 1月から2月に集中講義で実施する為、日程は決まり次第連絡します。また、初回の授業で授業計画や進め方などのガイダンスを行います。		
授業の進め方	授業は、パワーポイントのスライドと配付資料に基づき進めて行きます。また、演習で模擬データを用いながら進めていきます。能動的な学習と理解を目指す為、事前・事後学習の内容を授業に取り込み進めていきます。		
テキスト、教材、参考書	参考図書 「国民衛生の動向」厚生統計協会 「保健統計・疫学」南江堂 標準保健師講座 別巻2「疫学・保健統計学」医学書院		
成績評価の方法	筆記試験で評価します。筆記試験は100点満点で60点以下の場合は不合格とします。		
成績評価の基準	授業で示した例題と同レベルの問題が解ければ「水準にある」、応用問題が解ければ「やや上にある」、やや難しい応用問題が解ければ「かなり上にある」、例題からは難しい応用問題が解ければ「卓越している」 秀：100 - 90点 優：89 - 80点 良：79 - 70点 可：69 - 60点		
事前事後学習の内容	【事前学習】 毎回、教科書や副読本,その他資料で予習しておくべき個所を指定します。また、演習等で必要な情報収集などを指定します。 【事後学習について】 毎回、授業のはじめに、前回の授業のポイントを質問するので、端的にわかりやすく説明できるように準備して授業に参加してください。 本授業の単位修得には45時間の学習が必要であるため、以下のような学習時間を必要とします。授業時間15時間（2時間×7.5回）+自己学習時間30時間（4時間×7.5回）=45時間（分かりやすくするため、授業回数を7.5回で計算） 以上の自己学習時間を考慮して、事前・事後学習に意欲的に取り組んでください。		

学生へのメッセージ並びに質問 ，相談への対応	オフィスアワーは随時です。 授業内容や授業に関連した自己学習に関する質問や相談を随時受け付けます。 質問への対応：五十嵐久人 higaras@shinshu-u.ac.jp
-----------------------------------	---